令和2年～令和7年の12～3月(冬山)の山岳遭難事故発生場所

～阿弥陀岳南稜、大同心大滝、ジョウゴ沢乙女の滝等でのアイスクライミング、道迷いや滑落による重大事故が多発しています～

【天候急変への注意】
・冬場の山は、突然天候が悪化することがあります。時間に余裕を持ち、無理な行動は控えてください。
　早めに引き返すなど、安全を第一とした行動を心掛けてください。
【道迷いへの注意】
・樹林帯は登山道を示す赤テープ等の目印が雪に埋もれ、見つけにくくなっています。
・道標や山頂柱が雪に埋もれ、分岐点や山頂を見落とすことがあります。
・雪に埋もれた幼木帯では背丈以上に落ち込むことがあり脱出困難な場合があります。
・地形図やコンパス等（ＧＰＳ可）で現在地の確認を細やかに行うことが重要です。

北八ケ岳では道迷いに注意

茶臼山付近（1件）
※怪我により行動不能

南八ケ岳での下山中の滑落事故多し

天狗岳付近（１０件）
滑落・転倒・疲労・凍傷・道迷い
※重傷２件

東天狗岳付近（３件）
道迷い・凍死・滑落
※死亡３件

硫黄岳付近（４件）
転倒・疲労・凍傷・道迷い
※死亡１件・重傷１件

横岳付近（４件）
転落・疲労・凍傷
※重傷３件

阿弥陀岳付近（15件）
転倒・転落・滑落
※重傷１３件

赤岳付近（２５件）
転倒・滑落・病気・道迷い
※死亡６件・重傷１１件

権現岳付近（１件）
滑落